

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 95号

2014/06/09 発行  
株式会社 立花商店  
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き：ロンドン横ばい、ニューヨークは2年9か月ぶり高値

① 最高：7月 LDN 市場£1,948 /7月 NY 市場\$3,088 (6/4) 先週比 **LDN +£16/NY +\$17**

② 最低：7月 LDN 市場£1,941 /7月 NY 市場\$3,069 (6/2) 先週比 **LDN +£35/NY +\$40**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£7 (横ばい→) / NY 市場\$19 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN 市場 259,646 枚(5/30 終了時)⇒263,296 枚 (6/5 終了時) **+3650 枚**

NY 市場 221,309 枚(5/30 終了時) ⇒223,297 枚 (6/5 終了時) **+1988 枚**

【6月2日(月)】両市場ともほぼ横ばい

ニューヨーク市場のココア先物はスワップ関連の取引が目立つ中、横ばいで推移した。世界的な供給不足観測や、西アフリカのメーンクロップをめぐる天候懸念などが引き続き支援材料。

7月きりは2ドル(0.07%)安の**3069ドル**、9月きりは2ドル(0.07%)高の3072ドルで引けた。ロンドン市場の9月きりは横ばいの**1932ポンド**で取引を終えた。ある市場関係者は「天候、恐らくはエルニーニョ現象が生産にある程度影響を及ぼすとの懸念が浮上している」と語った。ただ、それでも供給不足は当初予想の規模を下回るとの見方が強まっている。コートジボワールの港湾入荷高は6月1日時点で推計約146万7000トン。

【6月3日(火)】両市場とも小幅高

ニューヨーク市場のココア先物は、前日の高値を下回る水準で推移したものの、7月きりは1ドル(0.03%)高の3070ドルで終了。前日は11年9月以来の高値水準まで値を上げていた。世界的な供給不足懸念や西アフリカの天候不順が支援要因。ロンドン市場の9月きりは、4ポンド(0.2%)高の1936ポンドで引けた。

【6月4日（水）】両市場とも続伸＝ニューヨークは2年9か月ぶり高値

ニューヨーク市場は続伸し、2年9か月ぶり高値を付けた。カカオバター相場が強含んだほか、2014～15年度のカカオ豆市場が供給不足になるとの観測が広がったことが背景。

ディーラー筋によると、天候懸念が相場を下支えている。今年はエルニーニョ現象が起りやすいとの見方があり、カカオ豆の生産減少が懸念されている。

7月きりは18ドル（0.6%）高の3088ドルで終了。一時は2011年8月下旬以来の高値を付けた。ロンドン市場の9月きりも続伸、12ポンド（0.6%）高の1948ポンドで引けた。

【6月5日（木）】ニューヨークは小幅続伸＝ロンドン反落

ニューヨーク市場の7月きりは、2年9か月ぶりの高値となる3104ドルまで上昇した後、上げ幅を縮小し、小幅続伸で引けた。2週間に及ぶ上昇で、買いの勢いが弱まった。終値は4ドル（0.1%）高の3092ドル。ロンドン市場の9月きりは反落し、3ポンド（0.2%）安の1945ポンドで終了。

【6月6日（金）】ニューヨーク反落＝ロンドン続落

ニューヨーク市場の7月きりは反落。テクニカル要因に基づく買いが入ったほか、7月きりと9月きりのサヤ取り商いが活発に行われる中、一時7月きりは約2年9か月ぶりの高値となる3106ドルを記録。その後、取引終盤に売られ、7月きりは13ドル（0.4%）安の3079ドルで引けた。ロンドン市場の9月きりは続落、4ポンド（0.2%）安の1941ポンドで取引を終えた。

## 2、インドネシア：2014年カカオ豆生産量、50万トンに達する見込み(6/5)

インドネシアのカカオ豆生産量は今年、9%上昇する見込みである。この上昇は、インドネシア政府が農家を支援し、農家がカカオ豆の病気と闘えるようになったことや、自立した農家が農地を拡大していることに起因している。

インドネシア・ココア委員会(Askind)のチェアマン Sikumbang 氏がロイターに告げたことによると、この数字は前回 Askind が予測として出した 2014 年期的カカオ豆生産高 42 万 5,000 トンより 18%上回っており、また昨年 2013 年期的の 46 万トンより約 9%の上昇となった。

Sikumbang 氏によると「生産高上昇は輸出増加にもつながり、今年の輸出量は 15 万トンとなる見込みだ。しかしながらインドネシア国内でのカカオ需要が高まりにより 2015 年期的の輸出量は 12 万 5,000 トンへと減少するだろう。」と述べた。

## 3、アジア：バターレシオは12月以来の高水準、パウダー価格は在庫が重しとなり下落(6/4)

今週のアジアのココアバターレシオは、チョコレート製造メーカーの買いが入り、12月以来の高水準となった。一方でパウダーは在庫が重く価格下落の引き金となり、取引価格は 2000US ドル/kg となった。

バターレシオは 2.5 でここ 2 週間は動きがない。欧州ではより高く 2.58～2.6 となっている。

先物価格とレシオは通常反対方向に動く。ロンドン先物価格は今年、カカオ豆の供給不足の懸念と天候不安により 12%上昇した。シンガポールのディーラーは「レシオは上昇基調にある。圧砕業者が工場稼働のコストを補うためにはバターを高値で売ることしか方法がない。」と述べた。

パウダー価格は2週間前の1600USドルから1400~1500USドルへと下落し、高品質のパウダーでさえも2000USドルから1800~1900USドルへと下落した。

他のディーラーは「一方で圧砕業者はパウダーの販売に困っている。もし1500~1600USドルで売ろうとしたらほとんど在庫が動かないだろう。しかし、もしバターであったら簡単に100トンでも200トンでも売れていくのに…。バターはかなり活発に取引がされている。」と述べた。

チョコレートの売り上げは通常、主要な消費国である欧州や北米の国々においてクリスマスやバレンタイン、イースターの時期に上昇する。これはアジアでも同様で、新興国の中流階級がよりチョコレートやビスケット、飲料を消費するようになって伸びてきている。米国のイースターでのチョコレートの売り上げは、チョコレートエッグやうさぎチョコレートによって6%伸びた。

#### **4、コートジ：大量の降雨、日光がカカオ豆生産を押し上げる(6/2)**

先週コートジのカカオ豆主生産地において大量の降雨と連続した日光の照射があり、4月~9月のミッドクロップの生育状況が改善されると見込まれている。ミッドクロップの取引は4月1日に始まり、農作物は直ちに収穫されていく。多くの地域の農家によると良い天候条件があれば少なくとも9月までの生産高は堅調に推移するという。

コートジ中西部のDaloaの農家は「天候が良いとカカオ豆が大きく育つ。」と述べた。また「日光がたくさん降り注ぐと、様々な問題を回避でき品質向上につながる。」と述べた。

西部のSoubreでは56mmの降雨があり、農家は「この雨でミッドクロップは少なくとも最低水準の品質が保証された。日光と土壌の湿度がカカオの木の生育には欠かせない。」と述べた。

また同じく西部のIssiaの農家は「どしゃぶりのあと、いくつかのカカオ豆農園では被害を受けた。しかしそれでも今週は収穫が大量にできるだろう。もし太陽が照っていたら豆の品質は良くなるだろう。」と述べた。

Gagnaの農業組合のメンバーは「我々もしこの暑さがなければ、昨シーズンよりも大量の収穫ができるだろうと予測している。しかし、大量の雨が降ったので一部の農家は豆の乾燥工程がうまくいかなくなることを懸念している。なぜなら買い手が豆の水分値の基準に厳しいから。」と述べた。

同じ状況が南部のAboisso, Tiassala, Agbevilleにもみられる。

SanPedroでは農家が「先週雨が毎晩降った。このせいで農園に足を運べなくなった。雨によって道の状態も悪く、何をするにも時間がかかってしまう。しかし我々はこの状況を受け止めざるを得ない。」と述べた。

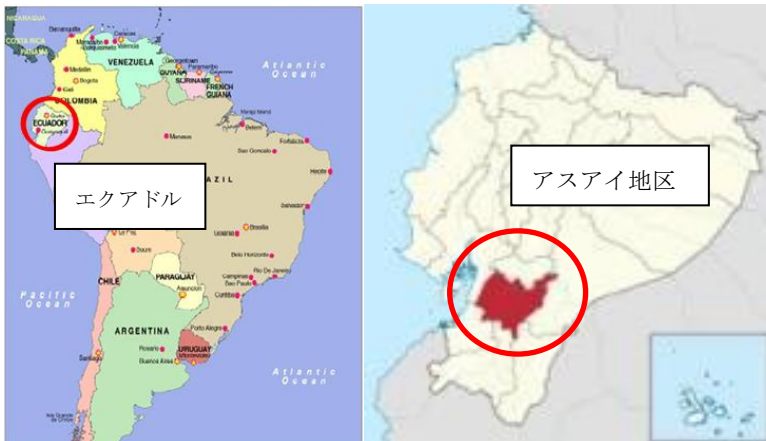
## 5、エクアドル：アスアイ地区に 13,290 ヘクタールのカカオ農園(6/2)

エクアドルの農業省によるとアスアイ地区に 13,290 ヘクタールのカカオ農園があり、うち 45,000 ヘクタールは良い品質のアロマカカオが栽培され、8,000 ヘクタール以上は CNN-51 種が栽培されている。またこの地域では圧砕業者の数も増えている。

CNN-51 種は1ヘクタールあたり 20~30 キンタル(約 900~1400 kg)の収穫量であり、アロマカカオよりも多い。よってアロマカカオの価格は CNN-51 よりも高くなる。

エクアドルのアロマカカオは良品質でグルメチョコレートや食品として適している。アスアイ地区には 60 ものカカオ豆栽培組合が存在し、その地域の 1500 件もの農家を束ねている。

中でも Ponce Enriquez はアスアイ地区の主なカカオ産地であり年間 6 万 1800 トンを生産している。エクアドル産のカカオ豆の主な買い手は、欧州(40%)、北米(30.6%)、南米(13.6%)、中米(7.7%)、アジア(6.6%)となっており、アジアの購買力は強まっている。



エクアドル産アロマカカオ種



## 6、カメルーン：中央地区でカカオ豆価格が下落(6/1)

カメルーンの中ミッドクロップの収穫量が始まっているが、中央地区ではカカオ豆価格が下落している。この下落は、ここ3カ月でカカオ豆不足によって生じた価格上昇分を上回っている。

農家によるとkgあたりの取引価格は2.29ドル～2.25ドルとなっており1週間前の2.58ドル～2.62ドルから下落している。カカオ豆生産者組合の代表は「価格は下落しているが必ずしも悪い状況とは言えない。カカオ豆価格は依然としてkgあたり2ドルを上回っている。これは昨年の同時期よりは良い。」と述べた。カメルーン中央地区はカメルーン全体の40%の生産高を誇り年間約2万2000トン以上を生産している。

\*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。  
《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545    w-ikuta@tachibana-grp.co.jp